

平成 29 年度下半期の財政事情 (平成 30 年 3 月 31 日現在の執行状況)

市民の皆さんに納めていただいた税金やそのほかの歳入などが、どのようなことに使われたのかを知っていたくため、財政執行状況をお知らせします。

なお、出納整理の期間（4月1日～5月31日）の数字が含まれませんので、決算の数字とは異なります。
※表の金額は概算です

■一般会計 歳入の状況

科目	予算現額	収入済額	収入率
市税	145億 8,795万円	146億 397万円	100.1%
地方譲与税	5億 1,807万円	5億 5,483万円	107.1%
地方消費税交付金	16億 1,330万円	16億 7,977万円	104.1%
地方交付税	100億 6,305万円	105億 7,250万円	105.1%
分担金及び負担金	7億 7,163万円	4億 9,172万円	63.7%
使用料及び手数料	5億 5,901万円	5億 625万円	90.6%
国庫支出金	49億 9,454万円	41億 2,663万円	82.6%
県支出金	28億 5,440万円	23億 4,697万円	82.2%
繰入金	15億 7,302万円	85万円	0.1%
繰越金	9億 9,148万円	9億 9,148万円	100.0%
諸収入	7億 6,722万円	4億 391万円	52.6%
市債	77億 7,590万円	1,940万円	0.2%
その他	8億 3,642万円	9億 440万円	108.1%
合計	479億 599万円	372億 268万円	77.7%

■一般会計 歳出の状況

科目	予算現額	支出済額	執行率
議会費	2億 9,293万円	2億 8,444万円	97.1%
総務費	77億 9,399万円	41億 3,084万円	53.0%
民生費	145億 2,310万円	118億 4,717万円	81.6%
衛生費	43億 9,402万円	34億 9,812万円	79.6%
労働費	7,388万円	7,337万円	99.3%
農林業費	18億 4,169万円	14億 7,540万円	80.1%
商工費	8億 8,968万円	8億 6,275万円	97.0%
土木費	23億 1,022万円	20億 3,674万円	88.2%
消防費	16億 4,935万円	15億 1,252万円	91.7%
教育費	33億 9,789万円	30億 405万円	88.4%
災害復旧費	6億 4,968万円	4億 2,914万円	66.1%
公債費	64億 3,318万円	50億 2,429万円	78.1%
予備費	3,000万円	0万円	0.0%
合計	442億 7,961万円	341億 7,883万円	77.2%

※市の借金である市債の収入済額は、1,940万円であり、市債の予算現額に対して0.2%の収入となっています。収入率が低いのは5月に借りる金額が多いためです。また、予算現額には繰越明許費*を含んでいます。

*繰越明許費：翌年度に限り、繰り越して使用することができる予算のこと

■市税の状況

皆さんに納めていただいた税金のうち、固定資産税がもっとも多く、収納額は78億3,240万円です。また、市民税の収納額は55億7,804万円です。市税全体に対して、38.8%となっています。

区分	予算現額	収納額	収納率
市民税	57億 7,730万円	55億 7,804万円	96.6%
固定資産税	78億 2,365万円	78億 3,240万円	100.1%
都市計画税	5万円	5万円	100.0%
軽自動車税	3億 334万円	3億 311万円	99.9%
市たばこ税	6億 2,230万円	6億 337万円	97.0%
鉱産税	4万円	4万円	100.0%
入湯税	6,086万円	5,706万円	93.8%
合計	145億 8,754万円	143億 7,407万円	98.5%

■特別会計・財産区特別会計 歳入歳出の状況

	会計名	予算現額	歳入		歳出	
			収入済額	収入率	支出済額	執行率
特別会計	国民健康保険事業	116億 6,216万円	90億 4,787万円	77.6%	102億 5,725万円	88.0%
	住宅新築資金等貸付	9,507万円	1,698万円	17.9%	9,112万円	95.8%
	駐車場事業	4,693万円	4,414万円	94.1%	2,360万円	50.3%
	介護保険事業	105億 3,988万円	88億 1,293万円	83.6%	90億 5,780万円	85.9%
	サービスエリア	1,163万円	1,059万円	91.1%	641万円	55.1%
	後期高齢者医療	12億 2,136万円	10億 3,489万円	84.7%	10億 5,814万円	86.6%
財産区	島ヶ原財産区	3,018万円	1,821万円	60.3%	826万円	27.4%
	大山田財産区	1,786万円	1,786万円	100.0%	598万円	33.5%
合計		236億 2,507万円	190億 347万円	80.4%	205億 856万円	86.8%

■基金

基金とは会計に例えると貯金のようなものです。基金の総額は167億2,499万円で、主なものは次のとおりです。

区 分	基金額
財政調整基金	60億7,929万円
伊賀市振興基金	30億3,661万円
庁舎建設基金	12億3,468万円
国民健康保険給付費支払準備基金	5億5,588万円

■一時借入金

一時借入金とは、支払いのための現金不足を補うために借り入れる資金で、同じ会計年度中に返済されるお金です。

一時借入金は次のとおりです。

区 分	借入残高
一般会計	20億円
特別会計	0万円
企業会計	1億5,000万円



■一般会計 市債の状況

区 分	残 高
総務債など	311億7,410万円
教育債	87億7,408万円
土木債	66億7,213万円
保健衛生債	25億3,772万円
農林債	9億656万円
合 計	500億6,459万円

■特別会計 市債の状況

会計名	残 高
国民健康保険事業（直営診療所）	879万円
住宅新築資金等貸付	1,871万円
合 計	2,750万円

■企業会計 市債の状況

会計名	残 高
病院事業	12億10万円
水道事業	141億7,564万円
下水道事業	155億3,554万円
合 計	309億1,128万円

■問い合わせ

財政課

☎ 22-9608 FAX 22-9694

■財政の動向と市長の財政方針

内閣府の3月の月例経済報告によると、国の経済状況は、景気が緩やかに回復しており、また、先行きについても、雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されています。

今後引き続き「まち・ひと・しごと創生基本方針2017」などを着実に実行することにより、雇用・所得環境の改善、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環のさらなる拡大も見込まれています。

次に、市の財政状況ですが、平成29年度に引き続き、普通交付税が減額される点（平成26年度と2020年度の比較で、約15億円の減額見込み）や、今後も期限内に市民に必要な事業を展開するため、有利な財源である合併特例債を借入れ、事業を継続して実施する予定としているため、公債費の一般財源に占める割合が高い状況が続くことが予想されます。

これらのことから、平成30年度も、政策的経費に充当できる一般財源が低下し、極めて厳しい状況が見込まれています。このような財政事情を踏まえ、平成30年度の予算編成は、「ムダのない財政運営」を基本として、一般財源配分方式の予算編成方法により、各部署に配分した財源でより効果的な事業を行います。

また、将来の税収の減少に備えて、新たな財源確保につながる事業や地域活性化のための事業、子育てなどに関する安心支援パッケージ事業などを本予算に盛り込み、「来たい・住みたい・住み続けたい、伊賀“づくり”」に取り組んでいきます。

平成30年5月

伊賀市長 岡本 栄